



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月26日

上場会社名 ブルドックソース株式会社 上場取引所 東  
コード番号 2804 URL <https://www.bulldog.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 石垣 幸俊  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 佐伯 舞 (TEL) 03(3668)6821  
経営企画室長  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	3,632	0.2	△103	—	12	△96.2	13	△90.0
2024年3月期第1四半期	3,624	5.7	199	92.9	319	51.3	135	△6.9

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 63百万円(△89.4%) 2024年3月期第1四半期 594百万円(99.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	1.02	—
2024年3月期第1四半期	10.17	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	33,322	21,280	63.9	1,593.35
2024年3月期	33,747	21,460	63.6	1,606.84

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 21,280百万円 2024年3月期 21,460百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	17.00	—	18.00	35.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	17.00	—	18.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,050	3.9	300	83.1	700	3.7	490	237.0	36.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項」を参照してください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期1Q	13,954,880株	2024年3月期	13,954,880株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2025年3月期1Q	598,854株	2024年3月期	598,854株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期1Q	13,356,026株	2024年3月期1Q	13,346,026株
------------	-------------	------------	-------------

※当社は、「役員報酬BIP信託」を導入しており、当該信託が保有する当社株式は、期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2024年4月1日～2024年6月30日)は、円安傾向が継続する中、インバウンド需要の拡大など景気の押上げ要因があるものの、国内では、コスト上昇に対応した生活必需品の価格改定が続く状況となりました。このため、消費者マインドは、賃上げ・雇用の回復以上に物価上昇感が根強く、日用品・食品への節約志向は依然として継続しました。

このような状況の中、当社グループは第11次中期経営計画「B-Challenge2025」の2年目を迎え、新たな成長に向け掲げている基本戦略3テーマ(国内戦略・海外戦略・VC(バリューチェーン)戦略)の具体策に取り組んでまいりました。国内戦略では、グループ各社のブランドを活用し東日本、西日本それぞれのエリアごとの特性を活かした商品の販売活動を進めております。海外戦略では、北米・中国への輸出における販売促進活動を活発化し、新規ルートの獲得などを進めております。また、VC戦略の重要な柱として2024年1月にスタートした「TATEBAYASHIクリエイションセンター(以下「TCC」)」の立上げに注力して参りました。

#### (国内)

「家庭用ソース」は、主力商品である「ウスター、中濃、とんかつソース」のうち小容量商品は好調に推移したものの、全体的には消費者の節約志向の影響により売上が鈍化し前年同期比2.0%減の20億1千4百万円となりました。

「業務用ソース」は、インバウンドの増加等で好調な外食市場の売上が拡大し、前年同期比4.1%増の9億5千8百万円となりました。

「家庭用(ソース以外)ドレッシング・たれ等」では、「&ブルドックドレッシング」が新商品を中心に好調に推移したものの、「野菜のドレス」が販売戦略変更に伴い一時的に販売店舗を縮小した結果、前年同期比4.4%減の3億5千9百万円となりました。

「家庭用(ソース以外)その他」は、コロナ後の外食回帰の影響などから前年同期比1.7%減の1億4千万円となりました。

#### (海外)

「輸出」は、北米を中心とする現地でのマーケティング活動を積極的に進め、円安も追い風となって米国、欧州、アジアでの売上が拡大し、前年同期比27.0%増の1億3千1百万円となりました。

「現地法人(上海)」は、コロナ収束後もALPS処理水問題などの影響を受けておりましたが、継続していた新規顧客へのアプローチの効果が表れ、前年同期比11.9%増の2千8百万円となりました。

この結果、売上高は前年同期比0.2%増の36億3千2百万円となりました。今年度は、当初想定していたTCC新設に伴う減価償却費の増加に加えて、売上が0.2%増にとどまったこと、原材料費の増加、外部倉庫費の増加などの影響も加わり、営業損失が1億3百万円となりました。これらに伴い経常利益は前年同期比96.2%減の1千2百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比90.0%減の1千3百万円となりました。

第2四半期以降におきましては、「家庭用ソース」は、秋に向けソース需要を喚起するため、総菜と連動したメニュー提案、食フェスなどのイベント参加、SNSキャンペーンなどを実施します。「業務用ソース」は、一時生産休止から提案の遅れていた中食市場向け商品提案を、新生産体制のもと加速し新規ユーザー・メニューを獲得します。また、生産対応力の向上を活かした他社からのブランドチェンジを一層進めることで、業務用市場での更なる売上拡大を進めております。売上拡大を支えるTCCでは、更なる生産性の向上に努めてまいります。

なお、当社グループの持続的な成長と中長期的な企業価値の向上にむけて「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」を重要な経営課題と認識しており、その方針として資本コスト(4%程度)を超えるROE5%の実現をめざしております。その具体的な取り組みについては <https://ir.bulldog.co.jp/ja/ir/news.html> をご参照願います。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4億2千5百万円減少し、333億2千2百万円となりました。

流動資産につきましては、現金及び預金の減少などにより、前連結会計年度末に比べて3億6千3百万円減少し、85億7千5百万円となりました。

固定資産につきましては、有形固定資産の減少などにより、前連結会計年度末に比べて6千1百万円減少し、247億4千6百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて2億4千5百万円減少し、120億4千1百万円となりました。

流動負債につきましては、未払金の減少などにより前連結会計年度末に比べて1億2千4百万円減少し、55億8千4百万円となりました。

固定負債につきましては、長期借入金の減少などにより、前連結会計年度末に比べて1億2千万円減少し、64億5千7百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、配当金の支払いによる利益剰余金の減少などにより、前連結会計年度末に比べて、1億8千万円減少し、212億8千万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月15日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,993	1,468
売掛金	4,926	5,111
商品及び製品	808	896
原材料及び貯蔵品	188	197
仕掛品	21	29
未収消費税等	708	660
その他	293	212
流動資産合計	8,939	8,575
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,216	7,125
機械装置及び運搬具（純額）	4,627	4,472
土地	2,784	2,784
その他（純額）	300	288
有形固定資産合計	14,929	14,671
無形固定資産	197	189
投資その他の資産		
投資有価証券	9,156	9,226
繰延税金資産	88	88
その他	444	579
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	9,681	9,886
固定資産合計	24,808	24,746
資産合計	33,747	33,322

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,739	1,910
電子記録債務	294	340
短期借入金	1,270	1,360
1年内返済予定の長期借入金	611	591
未払法人税等	8	2
未払金	255	54
未払費用	1,303	1,134
賞与引当金	171	89
その他	55	99
流動負債合計	5,708	5,584
固定負債		
長期借入金	4,412	4,269
繰延税金負債	1,263	1,279
退職給付に係る負債	763	771
役員株式給付引当金	35	35
執行役員退職慰労引当金	66	64
長期末払金	14	14
その他	23	21
固定負債合計	6,577	6,457
負債合計	12,286	12,041
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,044	1,044
資本剰余金	2,564	2,564
利益剰余金	15,125	14,895
自己株式	△794	△794
株主資本合計	17,939	17,709
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,437	3,485
為替換算調整勘定	20	24
退職給付に係る調整累計額	62	60
その他の包括利益累計額合計	3,521	3,570
純資産合計	21,460	21,280
負債純資産合計	33,747	33,322

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
売上高	3,624	3,632
売上原価	2,403	2,644
売上総利益	1,220	987
販売費及び一般管理費	1,021	1,090
営業利益又は営業損失(△)	199	△103
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	108	125
投資有価証券売却益	—	0
受取保険金	21	1
その他	1	1
営業外収益合計	131	128
営業外費用		
支払利息	8	11
為替差損	0	2
その他	1	0
営業外費用合計	10	13
経常利益	319	12
特別損失		
事業再構築費用	122	—
特別損失合計	122	—
税金等調整前四半期純利益	196	12
法人税等	61	△1
四半期純利益	135	13
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	135	13



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	135	13
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	458	47
為替換算調整勘定	0	3
退職給付に係る調整額	△1	△2
その他の包括利益合計	458	49
四半期包括利益	594	63
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	594	63
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)

該当事項はありません。

なお、連結範囲の重要な変更には該当しておりませんが、2024年6月に連結子会社であった株式会社B u l l  
フーズを当社に吸収合併し、連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、ソース類の製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	185百万円	283百万円